

グローバルCOE「生体シグナルを基盤とする統合生命学」
平成23年度大学院講義 新国際基盤生命学特論4

以下のように集中講義形式で開講します。単位を必用とする人は、最低2つのコース（コマ）を受講して、レポートを提出してください。

コース 1

Curing diabetes one fish at a time: the long road of translational research

Prof. Didier Stainier (University of California, San Francisco)

10月25日（火）16:30 – 18:30 理学部2号館4F講堂（担当：武田 洋幸）

コース 2

MPS-UT Joint Symposium “Neuroscience”

10月28日（金）9:30 – 18:00, 10月29日（土）9:00 – 18:00

薬学系総合研究棟 講堂（担当：狩野 方伸）

コース 3

Moving towards a systems level analysis of the events of vertebrate embryonic development

Prof. Scott E. Fraser (California Institute of Technology)

12月12日（月）13:30 – 15:00 [理学部2号館 第1講義室\(201\)](#) (担当：武田 洋幸)

コース 4

Session #1: 10:30 – 12:00

Making a face:

What epigenomics can teach us about human development

Dr. Tomek Swigut (Stanford University)

Session #2: 13:00 – 14:15

MicroRNA-mediated reprogramming of human fibroblasts to neurons

Dr. Andrew Yoo (Washington University)

Session #3: 14:30 – 15:45

Regenerate Broken Heart: Possible or Not?

Dr. Li Qian (Cardiovascular Diseases of Gladstone Institute/
UCSF CIRM fellow/researchers, US)

12月15日（木）分子細胞生物学研究所 IML 棟3階大会議室（担当：竹内 純）

履修届：Web上（学務システム）から履修登録してください。

成績評価：出席と2つのコースに対するレポートにより判定します。

レポート課題：講演の要点と感想をA4レポート一枚にまとめる。

提出期限：各コース終了後2週間以内。

提出先：題名「新国際基盤生命学特論4（講師名）」としてメールで下記宛先へ。

gCOE 講義係 <gcoe_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp> (3日以内に返信がなければ再度確認のこと。)

レポート担当教員：柳澤 春明 生物科学専攻分子生理学研究室（内線 24427）

責任者：渡邊嘉典（分子細胞生物学研究所） ywatanab@iam.u-tokyo.ac.jp（内線 21466）

武田洋幸（理学系研究科生物科学専攻） htakeda@biol.s.u-tokyo.ac.jp（内線 24431）